

算数

第6学年

育成を目指す資質・能力 【課題解決力】 【自分の思いや考えを伝える力】 【自己肯定感】

「めざせ800m走 新記録！」 ～速さの表し方を考えよう～

【単元の概要】

6年生児童全員が参加する町内陸上記録会を題材にした、「800m走で新記録を出すために、どのくらいの速さで走ればよいだろうか」という速さを比べる問題をきっかけに、速いとはどういうことか、また速さは何で決まるのか等、速さの求め方や速さへの理解を深める学習に対する課題意識をもちます。課題の解決では、単位量当たりの大きさの考えを用いて速さの表し方を考えたり、速さの公式や時間・道のりを求めたりして、既習の考えを活用すれば解決できることを実感していきます。単元末では、導入時に提示した課題に取り組み、習得した知識・技能を活用して問題を解いたり、身近な日常生活にある速さを使った問題に取り組みたり、自分の歩く速さや走る速さ等を求めたりして生活や学習に生かすことができるようになります。

◆単元の目標

単位量当たりの大きさの考え方を用いて、速さ・道のり・時間の関係を調べたり、速さについて理解し、求めたりすることができるようにするとともに、生活や学習に活用することができる。

◆単元の計画（全11時間）

【課題の設定（1時間）】

- 6年生児童全員が参加する町内陸上記録会の800m走の最高記録を題材にした問題をきっかけに、速さを比べる場面を通して、本単元の目標と学習の見通しをもつ。

【課題の解決（9時間）】

- 距離と時間のどちらも異なる場面の速さを単位量当たりの大きさの考えを用いて比べる。
- 実際に歩く時間や走る時間を測定し、速さを比べるのに時間と距離のどちらを1にそろえた方がよいか考え、速さの意味の理解を深める。
- 前時での学習を生かし、速さは単位時間当たりに進む道のりで表すこと、速さを求める公式を数直線や式を基に捉えさせ、どの単位時間を用いるかによって、時速、分速、秒速があることを理解する。
- 道のり・時間・速さの関係を考え、道のりを求める公式をつくったり、速さと道のりから時間を求めたりする。
- 時間を分数で表して速さを求めたり、道のりと時間の関係について考えたりする。
- 作業の速さも単位量当たりの大きさを用いて考えられることを理解し、作業の速さを求める。

【まとめ・表現、振り返り（1時間）】

- 第1時で提示した学習内容を適用した問題に取り組み、単元全体での自分の学びについて振り返る。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	「ひきざん～ひきざんのおはなしえほんをつくろう～」
	1	「ごちゃごちゃランドからすっきりランドへ くらべっこはかせになろう ～どちらがながい・どちらがおおい・どちらがひろい～」
	2	「水のかさをはかろう」
	2	「ようこそ『ロボックスランド』へ ～はこを作ろう～」
	3	「わり算図かん作りにちょうせん！ ～あまりのあるわり算を考えよう～」
	3	「つなごうアート！円のもようでかべかざりプラン ～まるい形を調べよう～」
	4	「どのように変わるか調べよう」
	4	「体育館と中校庭、どちらが広いかな？ ～広さを調べよう～」
	5	「図形の角の大きさのひみつを探ろう ～図形の角を調べよう～」
	5	「2つの数の関係のひみつを探れ ～変わり方を調べよう～」
国語	3	「『じんぎボックス』で感想を伝え合おう ～サーカスのライオン～」
	4	「府中東小学校のことを紹介しよう ～広告と説明書を読みくらべよう～」
	6	「社会へ発信、新聞の投書を書こう ～新聞の投書を読み比べよう～」
総合的な学習の時間	3	「府中を見たい！知りたい！おどり隊！」
	4	「ぼくたち わたしたちの東小グリーンワールド！」
	5	「今こそ広げよう！防災プロジェクト」
	6	「私たちができるピーススマイル活動」